

平成 26 年 5 月 15 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト
 代 表 取 締 役 社 長 高 田 真 吾
 (コード番号 : 3 8 2 5)
 電 話 番 号 (0 3) 6 2 0 6 - 2 2 2 0

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 27 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の通期個別業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績の差異

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想と実績の差異

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予測(A)	154	△73	△91	△89	△18.60
実 績(B)	131	△137	△155	△150	△29.41
増 減 額(B-A)	△23	△64	△64	△61	
増 減 率(%)	△14.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	263	6	3	1	△0.33

2. 差異が生じた理由

当社では、平成 25 年 11 月 27 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」でご報告の通り、下期での営業活動及び販売拡大に全社を挙げて注力してまいりました。その結果、本年 2 月以降は、エネルギー関連システムの販売代行売上として 33 百万円、エネルギー管理システム「ENeSYS」の海外向け売上として 28 百万円、エネルギー関連商品の直販売上として 25 百万円などの販売実績を上げることが出来ました。

「ENeSYS」につきましては、平成 25 年 12 月に弊社新製品として発表した時点で、すでに製品開発は進めており、完成後半年で 70 百万円の販売を実現することを当初の目標としておりました。

その後の開発・製造への注力と営業活動の結果、本年 3 月末の時点で、これに相当する受注をいただくことはできましたが、平成 26 年 3 月期で完了した納品が受注の半分となることと合わせ、販売価格の見直しもあり、「ENeSYS」は、28 百万円の販売となりました。

これらの結果、通期の売上高につきましては、前回予想値を下回る結果となりました。

また、損益につきましては、売上高の減少の他、「ENeSYS」などの新製品の発売に伴う原価及び販売管理費の負担増により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想値を大幅に下回る結果となりました。

なお、平成 26 年 3 月期の業績の詳細は、本日開示いたしました「平成 26 年 3 月期決算短信」に記載の通りであります。

以 上